



教育目標（鷺高の4 C）

挑戦（Challenge）

高い志をもって、自己実現に向けて積極的に挑戦する生徒

協調（Cooperation）

自己を知り、他者を知り、社会を知り、友情を育む生徒

信頼（Confidence）

ルールやマナーを守り、誠実で責任感のある生徒

創造（Creation）

伝統の上に立ち、新しい文化を自らの力で創り上げていく生徒

スクール・ミッション

「挑戦・協調・信頼・創造」を教育目標に掲げ、志を高く学習と部活動・学校行事等に取り組み、主体的に活動し努力を続ける生徒を育成します。さらに、生徒一人一人の特性に合う自己実現を図るとともに、自主・自律の精神、自他を認め合う心、思いやりの心、規範意識を育み、社会に貢献する態度を育成します。

アドミッション・ポリシー

- ①高い志をもって卒業後の進路目標を定め、目標実現に向けて強い意志をもって「挑戦」し、新たな価値を「創造」する生徒
- ②基本的な生活習慣が身に付いており、他者と「協調」しながらルールやマナーを守って生活できる生徒
- ③学習と特別活動（部活動、学校行事、生徒会活動等）のどちらにも積極的に取り組むとともに、他者と「信頼」関係を築いて活動し、リーダーとしても活動できる生徒

カリキュラム・ポリシー

確かな学力（知）・自己肯定感や規範意識（徳）・健やかな心身と運動能力（体）の育成と、変化する社会に対応できる12の資質・能力を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。

- ①学習指導：生徒が主体的に考え、学ぶ意欲が湧く授業を実践し、学力の定着と向上を図る指導を行います。
情報分析・活用力やリテラシーを育み、一人1台端末などデジタル技術を活用した教育を行います。
- ②生活指導：生徒が自ら「鷺高プライド」を確立し、規律を重んじ自他を認め合う態度を身に付ける指導を行います。
- ③進路指導：生徒が自己や社会の将来を展望し、高い志をもって第一志望進路を実現する力を身に付けるキャリア教育を行います。
- ④特別活動：目標の実現に向け情熱をもって挑戦し、仲間と協調して努力を続ける心身を育成します。
ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、部活動等を通じて、主体性と協働性を育み、自己肯定感を高める活動を行います。
- ⑤国際理解教育：語学力とグローバルマインドを身に付け、自文化や異文化を尊重する態度を養うとともに、英語4技能をバランスよく育成します。

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す12の資質・能力）

教養と基礎学力、課題発見・解決力、人間力と社会性を身に付け、高い志をもって立てた進路目標を実現し、自分で考え、判断し、行動できる生徒を育てます。

基礎的知識・技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の育成
① 基礎力・読解力	⑤ 思考・判断力	⑨ 人間力 (自立心・集中力・忍耐力)
② 論理的・多面的思考力	⑥ 課題発見・解決力	⑩ 自己肯定感
③ 英語力（語学力）	⑦ 創造力	⑪ 規範意識・社会性・協調性
④ 情報分析・活用力	⑧ 自己表現力	⑫ 知的好奇心

【育成を目指す12の資質・能力に基づくルーブリック】

		A	B	C
基礎的知識・技能の習得	①基礎力・読解力	各教科・科目の学習において、基礎的・基本的知識をもとに応用・発展的内容が理解できるとともに、自らの力で問題・事象を読み解くことができる。	各教科・科目の学習において、基礎的・基本的内容が理解できるとともに、問題・事象をほぼ読み解くことができる。	各教科・科目の学習において、基礎的・基本的内容がほぼ理解できるとともに、問題・事象を読み解こうとしている。
	②論理的・多面的思考力	さまざまな問題に対して論理的に考え、複数の視点で捉えることができるとともに、自分の意見を整理して述べるができる。	さまざまな問題に対して論理的に考え、複数の視点で捉えることができる。	さまざまな問題に対して論理的に考え、複数の視点で捉えようとしている。
	③英語力（語学力）	英語能力検定に積極的に取り組み、CEFRにおけるB1レベル（英検2級以上）に達している。	英語能力検定に積極的に取り組み、CEFRにおけるA2レベル（英検2級・準2級）に達している。	英語能力検定に取り組み、CEFRにおけるA2レベル（英検準2級）にほぼ達している。
	④情報分析・活用力	適切な情報を収集し、情報発信者の意図を客観的に分析した上で、自分の価値観を含めながら活用できる	適切な情報を収集し、情報発信者の意図を分析した上で、活用できる。	適切な情報を収集し、情報発信者の意図を分析した上で、活用しようとしている。
思考力・判断力・表現力等の育成	⑤思考・判断力	物事を論理的・多面的・客観的に捉えるとともに、自らの経験を踏まえて状況に応じた適切な判断を行うことができる。	物事を多方面から捉え、根拠をもって考え、適切な判断を行うことができる。	物事を多方面から捉え、根拠をもって考え、適切な判断を行おうとしている。
	⑥課題発見・解決力	社会の事象に関心をもち課題を発見するとともに、仮説を立て、科学的方法を用いて検証し、根拠を基に的確に解決策を導くことができる。	課題を発見し、解決のために科学的方法や根拠を示して解決策を導くことができる。	課題を発見し、解決のために根拠を示して解決策を導こうとしている。
	⑦創造力	高い目標に向けて、他者と協調しながら挑戦し、新たな価値を生み出すことができる。	高い目標を掲げて挑戦し、新たな価値を生み出そうとしている。	高い目標を掲げて挑戦し、新たな価値を考えている。
	⑧自己表現力	自分の伝えたいことや考えなどを正確かつ効果的に表現できるとともに、相手の考えを理解した上で説得力をもって伝えることができる。	自分の伝えたいことや考えなどを表現できるとともに、相手の考えを理解した上で伝えることができる。	自分の伝えたいことや考えなどを表現しようと努め、相手に伝えようとしている。
学びに向かう力・人間性等の育成	⑨人間力（自立心・集中力・忍耐力）	自らの意志で物事を考え、何事にも最後まで責任をもってやり抜くことができる。さらに、時間を意識して事に当たり、力を結集してより良い成果を生み出すことができる。	自分の考えを大切にし、何事にも責任をもって対処できる。さらに、時間を意識して事に当たり、より良い成果を生み出そうとしている。	自分の考えを大切にし、責任をもって対処しようとしている。さらに、時間を意識して事に当たろうとしている。
	⑩自己肯定感	自分の長所・短所を理解した上で、他者に対して適切に働き掛け、周囲に良い影響を与えることができる。	自分の長所・短所を理解し、良い点をさらに伸ばし、短所を改善していくための努力ができる。	自分の長所・短所を理解し、良い点をさらに伸ばしていくための努力ができる。
	⑪規範意識・社会性・協調性	社会で求められる倫理観や道徳観（ソーシャルスキル）を身に付け、他者と協働して行動できる。リーダーシップを発揮し、集団をより良い方向に導くことができる。	社会で求められる倫理観や道徳観（ソーシャルスキル）を踏まえた行動ができる。他者と協調して事を進めることができる。	社会で求められる倫理観や道徳観（ソーシャルスキル）を身に付けようとしている。他者と協調するよう努めている。
	⑫知的好奇心	自ら学んだことを生かして、学校知から日常知に結び付け、他の学習や生活にも発展させていくことができる。	いろいろな事象や現象に対して、問題意識の深まりとともに解決したい意識を継続的にもっている。	いろいろな事象や現象に対して、問題意識と、解決しようとする意識をもっている。